

第46期 第2四半期報告書

2021.7.1 >>>> 2021.12.31





代表取締役社長 原田 昌彦

中期経営計画

『ASAHI Going Beyond 1000』に基づく成長戦略を着実に進め、企業価値の拡大を目指してまいります。

台風22号によるセブ工場の被災について報告します。

2021年12月16日、台風22号がフィリピンを直撃し、当社の連結子会社TOYOFLEX CEBU CORPORATION(セブ工場)が、デバイス工場を中心に被災しました。そのため製品出荷を含むすべての操業を一時的に停止しま

したが、2022年1月14日から順次操業を再開しました。2022年6月期第2四半期連結累計期間においては、台風被害に伴う損害の一部を特別損失として計上しました。なお、被災の損害は保険収益でカバーできるため、当社グループ全体の今期の業績への重大な影響はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあり、欧州・中国を中心とした海外売上高の大幅増加により、第2四半期累計期間として過去最高の売上高となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、新型コロナウイルス感染症の影響による市場規模の縮小幅が前年同期比で回復傾向にあることに加え、市場ニーズの増加、複数社の買収の実現、ドイツにおける直接販売化の推進などにより、欧州・中国を中心に海外売上高が大幅に増加し、売上高は377億2百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

メディカル事業は、欧州・中国を中心に海外売上高が大幅に増加しました。国内市場においては非循環器領域の消化器系製品について直接販売切り替えに伴う返品が生じたものの、循環器領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテルが順調に推移し、売上高が増加しました。海外市場においては、イタリアのKARDIA S.R.L.および米国のRev.1 Engineering, Inc.の買収の効果による売上高の増加、ドイツにおける直接販売化の推進などにより、循環器領域のPTCAガイドワイヤーや

貫通カテーテルを中心に大変順調に推移しました。非循環器領域についても、末梢血管系、腹部血管系、OEM製品を中心に好調に推移しました。その結果、売上高は331億46百万円(同35.7%増)となりました。

デバイス事業についても、医療部材・産業部材ともに売上高は増加しました。医療部材については、国内市場では横ばい、海外市場では米国向け腹部血管系カテーテル部材および循環器系検査用カテーテル部材の取引増加により、売上高が増加しました。産業部材については、国内では建築関連の取引中止の影響により減少しましたが、海外ではレジャー関連・OA機器関連・自動車関連取引が好調に推移し、売上高はほぼ横ばいに推移しました。その結果、売上高は45億55百万円(同17.4%増)となりました。

売上高の増加に伴い前年同期比より大幅な増益となりました。

営業利益は、海外売上高の増加や直接販売化推進に伴う営業関係費用、買収実現に伴うのれん等償却費、研究開発費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、81億1百万円(同31.0%増)となりました。

経常利益は、為替差益の増加により85億90百万円(同40.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、セブ工場の台風被害に伴う特別損失2億49百万円を計上したものの、段階取得に係る差益6億15百万円の発生により63億83百万円(同43.4%増)となりました。

さらなる企業成長に向けて中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』を推進しています。

当社は現在、低侵襲治療を究極的に追究することで医師や患者様のQOL向上を目指し、2026年6月期において連結売上高1,000億円を超えることを目標とする中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』を推進しています。本中計では、「グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大」、「グローバルニッチ市場における新規事業の創出」、「グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築」、「持続的成長に向けた経営基盤の確立」の4つの基本方針を定め、さらなる成長を実現させるための事業ポートフォリオの構築を進めています。

当第2四半期連結累計期間では、(株)A-Traction(2021年8月1日付で「朝日サージカルロボティクス(株)」に社名変更)、KARDIA S.R.L.、Pathways Medical Corporation、Rev.1 Engineering, Inc.の4社を2021年7月付で買収、(株)カネカの新型脳動脈瘤塞栓コイルについて米国市場における販売提携契約を締結、プライム市場への選択を決議、朝日サージカルロボティクス(株)にて開発した次世代手術支援ロボット「ANSUR」の操作トレーニング機会の提供を目的とした東京トレーニングセンターの開設などを実施しました。

今後も引き続き中期経営計画に基づく成長戦略を着実に推進し、企業価値の向上を目指してまいります。

2022年3月

フィリピン台風によるセブ工場の稼働状況

2021年12月16日、台風22号(ライ)がフィリピンを直撃し、その影響により、医療機器および産業機器用部材等の製造を行う当社グループのTOYOFLEX CEBU CORPORATION (セブ工場)が被災しました。

メディカル事業については、建屋や設備に重大な損傷はなく、2022年1月14日より操業を再開しています。また当社連結子会社 ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. (タイ工場)、当社連結子会社 ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. (ハノイ工場)での代替生産が可能であり、安全在庫も確保できていたことから重大な影響は

ありませんでした。

デバイス事業については複数の生産工場では建屋の大半が損傷を受けましたが、建屋の復旧および機械設備の動作確認を進め、2022年1月20日より段階的に操業を再開しています。

なお、日本人駐在員、現地従業員ともに人的被害はありませんでした。

全面的な稼働再開に向けて引き続き対応を進めてまいります。



〈デバイス工場の被災の様子〉



第5回日本医療研究開発大賞 『厚生労働大臣賞』を受賞

当社は2021年12月24日、第5回日本医療研究開発大賞において『厚生労働大臣賞』を受賞しました。日本医療研究開発大賞は、世界の医療の発展に向けて医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して功績を称えることにより、国民の関心と理解を深め、研究者等のインセンティブを高めることを目的としています。

従来治療が困難であった心臓血管が完全に詰まった病変(CTO)に対して、カテーテル治療を可能とする世界初の医療用デバイスを当社が2000年代に開発し、世界中の患者様の治療負担を軽減することにより患者様の生活の質の向上に貢献してきたことが認められ、今回の受賞に至りました。

同日、首相官邸において行われた授賞式にて、後藤厚生労働大臣より表彰状が授与されました。



▲ 首相官邸での授賞式

愛知県瀬戸市の地域情報誌 『INTE-LLIGENCE』を創刊

2022年1月、地域活性化の一助となるようにとの想いを込めて、当社の本社所在地である愛知県瀬戸市を中心とした地域の最新情報を発信する地域情報誌『INTE-LLIGENCE』を制作・創刊しました。

本情報誌は、瀬戸市を中心とした地域を、より深く知り楽しんでいただけるよう、瀬戸市で働き、瀬戸市近郊に住む当社の社員がディープな情報をピックアップしました。観光、グルメ、名産品、周辺マップなど、「瀬戸の魅力」を再発見する」記事が満載です。ぜひご覧ください。

本誌設置場所

名鉄瀬戸線：尾張瀬戸駅・新瀬戸駅・三郷駅・尾張旭駅
愛知環状鉄道：瀬戸市駅
瀬戸信用金庫(市内15店舗)/名古屋銀行 瀬戸支店/愛知銀行 瀬戸支店/瀬戸市役所/パルティセと/瀬戸蔵/図書館/文化センター/道の駅瀬戸しなの/デジタルリサーチパークセンター
他



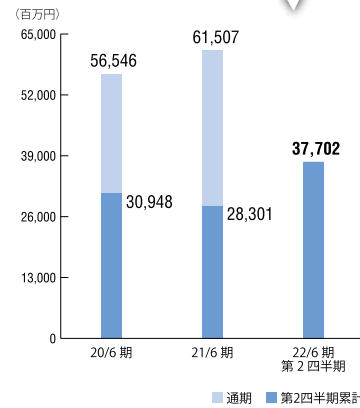
地域情報誌 『INTE-LLIGENCE』

連結財務データ

売上高

売上高 前年同期比**33.2%**増

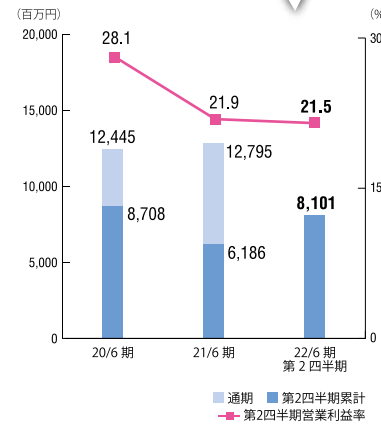
新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向、M&Aの実施、為替動向などにより医療事業・デバイス事業ともに増収となりました。第2四半期累計期間として過去最高の売上高となりました。



営業利益／営業利益率

営業利益 同**31.0%**増

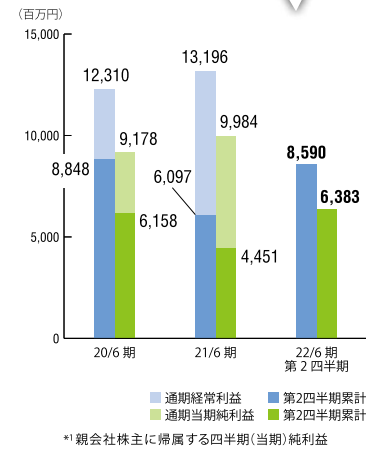
のれん償却費、研究開発費などの販売費及び一般管理費が増加したものの、海外市場の売上高の増加などにより、増益となりました。



経常利益／四半期(当期)純利益^{*1}

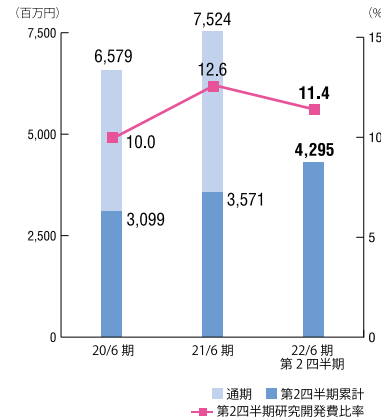
経常利益 同**40.9%**増 四半期純利益 同**43.4%**増

為替差益の増加、セブ工場の台風被害に伴う特別損失が発生したものの段階取得に係る差益の発生により、増益となりました。

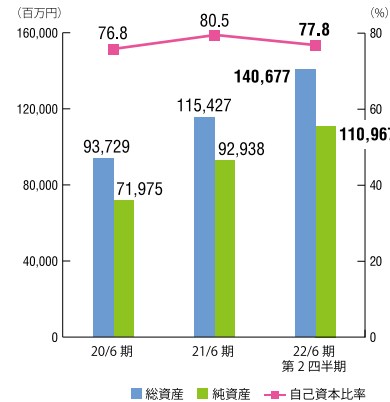


^{*1} 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

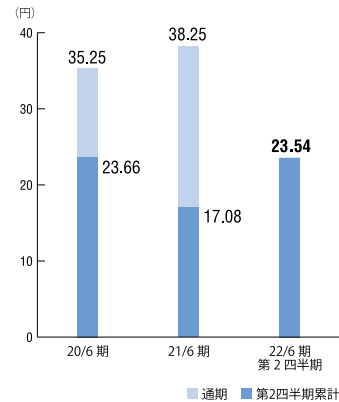
研究開発費／研究開発費比率



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



会社情報／株式情報 (2021年12月31日現在)

会社概要

商号 朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)
 設立 1976(昭和51)年7月8日
 資本金 188億6,079万円
 従業員数 連結 9,838名／単体 953名
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)
 名古屋証券取引所(市場第一部)
 主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売
 ②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長…………… 宮田 昌彦
 代表取締役副社長…………… 宮田 憲次
 専務取締役…………… 加藤 忠和
 常務取締役…………… 松本 宗近
 取締役…………… 寺井 芳徳
 取締役…………… 伊藤 瑞穂
 取締役…………… 西内 誠
 取締役…………… 伊藤 清道^{*1}
 取締役…………… 芝崎 晶紀^{*1}
 取締役…………… 佐藤 昌巳^{*1}
 取締役(監査等委員)…………… 太田 博史
 取締役(監査等委員)…………… 富田 隆司^{*2}
 取締役(監査等委員)…………… 花野 康成^{*2}

^{*1} 取締役伊藤清道、芝崎晶紀、佐藤昌巳は、社外取締役であります。

^{*2} 取締役(監査等委員)富田隆司、花野康成は、社外取締役(監査等委員)であります。

株式情報

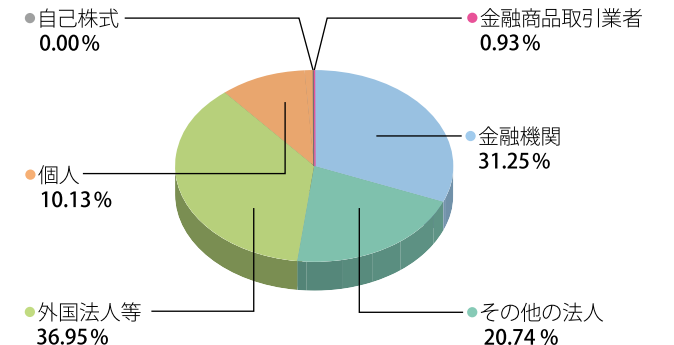
発行可能株式総数 800,000,000株
 発行済株式の総数 271,633,600株(自己株式 7,878株を含む)
 株主数 14,068名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	36,598,700	13.47
ボウエンホールディングス(株)	23,084,032	8.49
(株)日本カストディ銀行(信託口)	21,901,300	8.06
(株)ハイレックスコーポレーション	8,100,000	2.98
アイシーエスピー(有)	7,200,000	2.65
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	6,060,620	2.23
宮田 昌彦	5,807,700	2.13
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,508,103	2.02
宮田 憲次	5,261,800	1.93
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140041	5,103,929	1.87

(注) 持株比率は、自己株式(7,878株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



事業所 (2021年12月31日現在)

▶ 国内事業所

本 社 / メディカル事業統括本部	
グローバル本社・R&Dセンター	愛知県瀬戸市
デバイス事業統括本部 大阪R&Dセンター	大阪府和泉市
静岡R&Dセンター	静岡県袋井市
東北R&Dセンター	青森県八戸市
サテライトオフィス 名古屋オフィス	愛知県名古屋市中区
営業拠点 東京	東京都新宿区
大 阪	大阪府和泉市

▶ 海外事業所

中 東 支 店	アラブ首長国連邦 ドバイ
シンガポール支店	シンガポール ユナイテッドスクエア
香 港 支 店	中国 香港
インド支店	インド ムンバイ
韓 国 支 店	韓国 ソウル (特別) 市
台 湾 支 店	台湾 新北市
タイ支店	タイ バンコク

▶ 連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.	タイ バトゥムタニ県
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	ベトナム ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC.	米国 カリフォルニア州
朝日英達科貿(北京)有限公司	中国 北京市
朝日インテックJセールス株式会社	東京都港区
フィルメック株式会社	愛知県名古屋市中区
トヨフレックス株式会社	東京都新宿区
TOYOFLEX CEBU CORPORATION	フィリピン セブ州
ASAHI INTECC LATIN PROMOCÃO DE VENDAS E COMERCIO DE PRODUTOS CIRURGICOS LTDA.	ブラジル サンパウロ州
ASAHI Medical Technologies, Inc.	米国 カリフォルニア州
ASAHI INTECC CIS LLC	ロシア連邦 モスクワ州
ASAHI INTECC EUROPE B.V.	オランダ アムステルダム
ASAHI INTECC Deutschland GmbH	ドイツ フランクフルト
Filmecc USA, Inc.	米国 カリフォルニア州
朝日サージカルロボティクス株式会社	千葉県柏市
KARDIA S.R.L.	イタリア ミラノ
Rev.1 Engineering, Inc.	米国 カリフォルニア州
Pathways Medical Corporation	米国 カリフォルニア州

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ http://www.asahi-intecc.co.jp/ に 掲載します。 但し、やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



Your dreams. Woven together.

朝日インテック株式会社

〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町3番地100 Tel:0561-48-5551(代) Fax:0561-48-5552

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>